

胃がん検診(バリウム)

令和7年度に胃内視鏡検診を受けた方は今年度受診できません

●以下の項目に該当する方は、市の胃がん検診を受けることはできませんので、医療機関にご相談ください。

- ・ 飲食時にむせやすい、のどの病気や手術をしたことがある
- ・ 過去にバリウムを飲んで具合が悪くなった、アレルギー症状がでた
- ・ 胃がんなどの診断を受け、治療中や経過観察中である
- ・ 検査当日まで1週間以上排便がない
- ・ 心臓病や腎臓病及び人工透析で、水分制限をうけている
- ・ 検診当日、インスリンや血糖降下剤を服用
- ・ 肺切除、酸素吸入療法等をしている
- ・ 体重が130kg以上ある
- ・ 耳が聞こえない
- ・ 検査台の上で指示に従って寝返りができない
- ・ 妊娠中または妊娠の可能性がある

胃がん検診(バリウム)・肺がん検診・大腸がん検診の共通注意事項

胃がん検診の後に、肺がん・大腸がん検診を受ける場合

バリウムがレントゲンに写り込んだり、便に混じったりする可能性があります。

肺がん・大腸がん検診は、胃がん検診より前に受けることをおすすめします。

胃がん検診の後に
肺がん検診を受ける場合

バリウムを飲んでから**4日間以上あけて**、
肺がん検診(レントゲン)を受けてください。
(例)9/10に胃がん検診
→9/15から肺がん検診受診可能

胃がん検診の後に
大腸がん検診を受ける場合

白い便が出ないこと(普通の便になったこと)を確認してから便をとってください。

肺がん検診・胃がん検診 レントゲン撮影時の服装について

◎推奨される服装



×着用できないもの

